



学校だより



令和3年9月30日
10月号
調布市立第一小学校
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho/>

TEL042(481)7636

相手を思いやる気持ち

副校長 飯島 慶裕

厳しい暑さも一段落し、さわやかな秋を迎えています。秋といえば、食欲の秋、読書の秋、芸術の秋、実りの秋、そしてスポーツの秋。暑さが和らぎ、何をするにもよい季節になりました。

さて、4月1日から始まった令和3年度も半分が終わりました。その間、新型コロナウイルスに関する宣言等が出ていなかったのは、4月1日～11日までの11日間だけで、まん延防止等重点措置・緊急事態宣言の発令が続き、緊急事態宣言下の生活が日常のような状態になっていたのではないかと思います。特に7月下旬から8月にかけては新規感染者・重傷者数が増加し、私自身もこの時期、感染の不安を強く感じました。

感染拡大の状況から、調布市教育委員会は、夏季休業日を延長するとともに、9月7日から4日間、オンライン授業を行うことにしました。初めてのオンライン授業に向けて、本校でも様々な課題を一つ一つ解決し、できるだけ双方向の授業に近付けるようアイデアを出し合いながら準備を進めました。取組については、NHKで取り上げられて何度か放送されました。現在は「NHK首都圏ナビWebレポート（下段参照）」に掲載されていますので、よろしかったら御覧ください。初めての全校一斉オンライン授業は、保護者の方の御協力なくては成り立ちませんでしたので、改めて感謝申し上げます。



ところで、国のGIGAスクール構想のもと、1人1台タブレット端末が児童に配布され、鉛筆やノートと同じように学習の必須アイテムとなりました。タブレット端末は、使うことを目的とするのではなく、児童の資質や能力を引き出し、育成するために必要です。今までできなかったことや時間のかかったことが、簡単に短時間でできるようになり、学習の幅を広げました。ただ、この機器は、正しい使い方をすればとても有効な道具ですが、使い方を間違えれば、人を傷つけたり、時には死に追いやってしまったりする道具にもなりかねません。先日、いじめを苦に小学生が自殺したという悲しい報道がありました。いじめの一部がタブレット端末のチャット機能を使っていたということで、設定や使い方の問題点が指摘されています。本校でも、タブレット端末を安全に使うために、書き込み等の確認を定期的に行いながら不適切な内容があれば削除するとともに、正しい使い方を児童へ指導しています。

タブレット端末だけでなく、様々な機器やアプリケーションが開発され、世の中に出てきますが、使うのはあくまで人です。相手を思いやる気持ちを持ちながら使うことで、良い効果をもたらします。これからも、日々の教育活動の中で、自分を大切にするとともに、相手を思いやる気持ちを育む教育を進めてまいります。

最後に、9月30日を最後に緊急事態宣言は全面解除されますが、学校での感染拡大防止の取組は今後も継続してまいりますので、御協力をお願いいたします。

東京 調布の小学校 一斉オンライン授業の4日間 教員たちの奮闘記 <https://www.nhk.or.jp/shutoken/wr/20210916b.html>

10月の生活目標 **すすんで仕事をしよう**

学校では、いろいろな人が力を合わせながら働いています。教員はもちろん、子供たちの登校前にモップがけをしている用務主事、給食のメニューを考える栄養士、給食を調理する調理員、皆が使っているものをそろえる事務主事、学校の安全を見守る校舎管理補助員など様々です。

協力しながら働くことの良さに気付かせ、子供たちに、すすんで仕事をする大切さや喜びを理解させたいと思います。みんなのために役立つ仕事を積極的に行うことのできる子供であってほしいと思います。